

## 令和6年度下水道事業会計予算の概要

(単位:千円)

下水道事業会計		令和6年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額a-b
収益的収支	収益的収入	4,530,130	4,538,778	△ 8,648
	収益的支出	4,456,923	4,428,107	28,816
資本的収支	資本的収入	2,760,343	2,087,302	673,041
	資本的支出	3,162,589	2,458,478	704,111

※収益的収入・収益的支出の金額は、予算科目のうち「款:下水道事業収益」及び「款:下水道事業費用」と同額

(単位:千円)

予算規模	令和6年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額a-b
	7,619,512	6,886,585	732,927

※予算規模は、収益的支出と資本的支出の合計額

### 業務の予定量

事項	令和6年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額a-b
処理区域内人口 (単位:人)	240,344	239,774	570
年間総処理水量 (単位:m <sup>3</sup> )	38,096,058	38,125,077	△ 29,019
一日平均処理水量 (単位:m <sup>3</sup> )	104,373	104,167	206
主要な建設改良事業 (単位:千円)	2,528,176	1,895,603	632,573

## 1. 令和6年度の取組方針及び検討課題

- (1) 災害に強い下水道の整備
  - ア 令和元年台風第19号の再度災害防止に向け粕江市と連携した大規模ポンプ施設等整備(令和6年度:基本設計・詳細設計),  
流域治水の考えに基づいた浸水対策のマスタープランとなる雨水管理総合計画の策定(令和5・6年度検討, 令和7年度策定予定)
  - イ 地震対策基本方針を取りまとめ, 調布市下水道における地震対策計画(計画期間:令和7年度~令和11年度の5年間)の策定
- (2) 持続可能な下水道事業経営
  - ア 下水道ストックマネジメント計画(令和2年度策定)に基づく下水道管路の老朽化・劣化対策の推進,  
下水道管路の維持管理業務における更なる官民連携の推進(令和6~8年度(債務負担行為設定)に包括的民間委託を導入)
  - イ 下水道事業における経営課題の解決に向けた経営戦略(中長期収支計画の検証, 下水道使用料水準のあり方の検討を含む。)の改定  
(令和6年度改定予定, 計画期間:令和7年度~令和16年度の10年間)
  - ウ 仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化(令和6年度工事完了予定)の推進
  - エ 下水道広報の充実(近藤勇生誕190周年に合わせた西調布駅周辺におけるデザインマンホール蓋設置による下水道広報及び地域活性化)

## 2. 令和6年度新規・拡充

- (1) 下水道管路の維持管理業務に新たに包括的民間委託を導入(令和6~8年度の3年間)
- (2) 調布市下水道ストックマネジメント計画(第1期)(計画期間:令和3年度~令和7年度)に基づく管路の劣化状況の点検, 補修・改築,  
マンホール蓋交換工事
- (3) 次期下水道ストックマネジメント計画の策定(令和7年度策定予定)
- (4) 仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化への切替に向けた管路新設工事(令和6年度工事完了予定)
- (5) デザインマンホール蓋の製作・設置工事

### 3. 事業別予算化状況(前年度比較)

<収益的収入及び支出>

収益的収入

(単位:千円)

款	項	目	令和6年度予定額 a	前年度予定額 b	差引増減額 a-b	主な増減要因
1	下水道事業収益		4,530,130	4,538,778	△ 8,648	
	1	営業収益	3,153,381	3,159,221	△ 5,840	
		1 下水道使用料	1,964,331	2,013,029	△ 48,698	一人当たり有収水量の減傾向を踏まえた減
		2 雨水処理負担金	1,180,410	1,120,863	59,547	収益的支出(野川吐口移設工事基本設計・包括的民間委託料等)に伴う増
		90 その他営業収益	8,640	25,329	△ 16,689	府中市維持管理負担金(前年度に計上した上石原3丁目公共下水道19号幹線補強工事費分の減)の減
	2	営業外収益	1,376,748	1,379,556	△ 2,808	
		1 受取利息及び配当金	10	13	△ 3	
		2 他会計負担金	35,598	44,788	△ 9,190	前年度に計上した固定資産除却費(管路撤去工事費)等に対する一般会計負担金の減
		5 長期前受金戻入	1,182,660	1,230,347	△ 47,687	減価償却費に伴う減
		7 消費税及び地方消費税還付金	155,135	101,133	54,002	令和6年度の総収支(収益的収支+資本的収支)に伴う増
		8 雑収益	3,345	3,275	70	
	3	特別利益	1	1	0	
		3 過年度損益修正益	1	1	0	

収益的支出

(単位:千円)

款	項目	令和6年度予定額 a	前年度予定額 b	差引増減額 a-b	主な増減要因
1	下水道事業費用	4,456,923	4,428,107	28,816	
	1 営業費用	4,323,551	4,312,039	11,512	
	1 管渠費	593,579	491,924	101,655	包括的民間委託料(維持管理業務), 管路建設改良工事基本設計委託料, 次期ストックマネジメント計画策定委託料, ウォーターPPP導入検討委託料等の増
	2 ポンプ場費	53,416	54,874	△ 1,458	
	3 流域下水道管理運営費	1,474,243	1,475,365	△ 1,122	
	4 総係費	471,782	468,339	3,443	
	5 減価償却費	1,728,585	1,805,669	△ 77,084	固定資産の耐用年数超過による, 減価償却対象資産の減少に伴う減
	6 資産減耗費	1,946	15,868	△ 13,922	除却対象資産の減少に伴う固定資産除却費の減
	2 営業外費用	128,371	111,067	17,304	
	1 支払利息及び企業債取扱諸費	128,222	110,948	17,274	企業債利息の増
	4 雑支出	149	119	30	
	3 特別損失	1	1	0	
	4 過年度損益修正損	1	1	0	
	4 予備費	5,000	5,000	0	
	1 予備費	5,000	5,000	0	

<資本的収入及び支出>

資本的収入

(単位:千円)

款	項	目	令和6年度予定額 a	前年度予定額 b	差引増減額 a-b	主な増減要因
1	資本的収入		2,760,343	2,087,302	673,041	
	1	企業債	2,492,800	1,929,200	563,600	
		1 企業債	2,492,800	1,929,200	563,600	管渠建設改良費と連動した増
	2	国庫補助金	153,050	100,000	53,050	
		1 国庫補助金	153,050	100,000	53,050	老朽化・劣化対策(ストックマネジメント)工事費の補助対象事業費と連動した増(補助率1/2)
	3	都補助金	59,375	5,000	54,375	
		1 都補助金	59,375	5,000	54,375	老朽化・劣化対策(ストックマネジメント)工事費の補助対象事業費と連動した増(管路更生工事:補助率1/4, マンホール蓋交換工事2.5/100)
	6	他会計負担金	55,118	53,102	2,016	
		1 他会計負担金	55,118	53,102	2,016	管路建設改良工事費(調布駅前広場管渠新設撤去工事)に対する一般会計負担金の減

資本的支出

(単位:千円)

款	項	目	令和6年度予定額 a	前年度予定額 b	差引増減額 a-b	主な増減要因
1	資本的支出		3,162,589	2,458,478	704,111	
1	建設改良費		2,770,505	2,111,439	659,066	
	1	管渠建設改良費	2,528,176	1,895,603	632,573	自然流下化工事費, 老朽化・劣化対策(ストックマネジメント)工事費, 自然流下化に伴う移設工事等補償費, 管渠等建設改良工事設計等委託料, 根川雨水幹線建設改良負担金等の増
	3	建設改良事務費	41,794	40,418	1,376	
	4	流域下水道費	200,535	175,418	25,117	流域下水道建設負担金の増
2	固定資産購入費		4,324	344	3,980	
	1	固定資産購入費	4,324	344	3,980	庁用車購入に伴う増
3	企業債償還金		382,760	341,695	41,065	
	1	企業債償還金	382,760	341,695	41,065	
6	予備費		5,000	5,000	0	
	1	予備費	5,000	5,000	0	

【参考】管渠建設改良費の事業別内訳

事業名	令和6年度予定額	前年度予定額	差引増減額
浸水対策事業	39,193	2,394	36,799
老朽化・劣化対策事業	469,866	308,417	161,449
自然流下化事業(仙川汚水中継ポンプ場)	1,128,866	774,389	354,477
都市計画道路整備事業等に伴う管渠建設改良事業	890,251	810,403	79,848
計	2,528,176	1,895,603	632,573

補てん財源の額

資本的収入額(27億6034万3000円)が資本的支出額(31億6258万9000円)に対し不足する額(4億224万6000円)を、以下の補てん財源で補てん  
(単位:千円)

補てん財源	補てん額(使用額)	備考
	令和6年度予定額	
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	221,427	消費税及び地方消費税(以下「消費税」という)の納税額を、資本的収支に係る分も含め収益的収支に計上する会計上の仕組みにより、下水道事業会計内部に蓄えられる資金(資本的支出の消費税の額から、資本的収入の消費税の額及び控除対象外の消費税の額を差し引いた額)
過年度分損益勘定留保資金	180,819	過年度における減価償却費等の現金の支出を伴わない費用の収益的支出への計上により、財源として下水道事業会計内部に蓄えられた資金のうち、当年度への繰越資金残高
当年度分損益勘定留保資金	0	当年度における減価償却費等の現金の支出を伴わない費用の収益的支出への計上により、財源として下水道事業会計内部に蓄えられる資金
計	402,246	

【参考】補てん財源残高の状況

(単位:千円)

補てん財源	使用可能額			使用額 (補てん額)	差引残高
	前年度繰越額(見込)	当年度中に蓄えられる額	計		
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	0	221,427	221,427	221,427	0
過年度分損益勘定留保資金	969,179	0	969,179	180,819	788,360
当年度分損益勘定留保資金	0	399,628	399,628	0	399,628
計	969,179	621,055	1,590,234	402,246	1,187,988

※前年度繰越額(見込)は、令和5年度下水道事業会計補正予算(第2号)の差引残高と同額

<債務負担行為>

(単位:千円)

事項	期間	限度額
(収益的支出) 管路施設包括的民間委託料(維持管理業務)	自 令和6年度 至 令和8年度	270,765
(資本的支出) 管路施設包括的民間委託料(ストックマネジメント計画に基づく点検業務)	自 令和6年度 至 令和8年度	48,565
(資本的支出) 自然流下化工事に伴う家屋調査委託料	自 令和6年度 至 令和7年度	37,043

<企業債>

(単位:千円)

起債の目的	限度額
公共下水道事業	2,292,400
流域下水道事業	200,400
計	2,492,800

<議会の議決を経なければ流用することのできない経費>

(単位:千円)

	令和6年度 予定額	前年度 予定額	差引増減額	備考
職員給与費	169,053	158,647	10,406	職員給与費は、調布市職員の給与に関する条例で給与として定めているもの (児童手当を除く一般職人件費)

【参考】予定価格が1億5000万円以上となることが想定される工事請負費

(単位:千円)

事項	期間	金額
ストックマネジメント工事費	令和6年度	427,120



【参考】収益的支出・資本的支出の財源内訳

<収益的支出>

(単位:千円)

款	1 下水道事業費用	財源(収益的収入の予算科目と対応)						
		一般会計が負担		国・都補助金	長期前受金戻入	その他営業収益・雑収益(過料を除く)・特別利益	下水道使用料	
項及び目	令和6年度 予定額	雨水処理負担金	他会計負担金					
1	営業費用	4,323,551	1,128,543	19,773	0	1,182,660	11,984	1,980,591
1	管渠費	593,579	288,569	3,200	0	0	7,990	293,820
2	ポンプ場費	53,416	0	0	0	0	0	53,416
3	流域下水道管理運営費	1,474,243	544,159	15,512	0	0	0	914,572
4	総係費	471,782	54,660	0	0	0	3,994	413,128
5	減価償却費	1,728,585	240,852	1,061	0	1,181,394	0	305,278
6	資産減耗費	1,946	303	0	0	1,266	0	377
2	営業外費用	128,371	50,127	15,825	0	0	0	62,419
1	支払利息及び企業債取扱諸費	128,222	50,127	15,825	0	0	0	62,270
4	雑支出	149	0	0	0	0	0	149
3	特別損失	1	0	0	0	0	1	0
4	過年度損益修正損	1	0	0	0	0	1	0
4	予備費	5,000	1,740	0	0	0	0	3,260
1	予備費	5,000	1,740	0	0	0	0	3,260
	計	4,456,923	1,180,410	35,598	0	1,182,660	11,985	2,046,270

<資本的支出>

(単位:千円)

款	1 資本的支出		財源(資本的収入の予算科目と対応)				資本的収支 不足額
			企業債	国・都補助金	一般会計が負担	分担金・負担金	
項 及び 目	令和6年度 予定額						他会計負担金
1	建設改良費	2,770,505	2,492,800	211,875	639	0	△ 65,191
1	管渠建設改良費	2,528,176	2,292,400	211,875	0	0	△ 23,901
3	建設改良事務費	41,794	0	0	639	0	△ 41,155
4	流域下水道費	200,535	200,400	0	0	0	△ 135
2	固定資産購入費	4,324	0	550	0	0	△ 3,774
1	固定資産購入費	4,324	0	550		0	△ 3,774
3	企業債償還金	382,760	0	0	54,479	0	△ 328,281
1	企業債償還金	382,760	0	0	54,479	0	△ 328,281
6	予備費	5,000	0	0	0	0	△ 5,000
1	予備費	5,000	0	0	0	0	△ 5,000
	計	3,162,589	2,492,800	212,425	55,118	0	△ 402,246

【参考】企業債残高の状況

(単位:千円)

	令和5年度末 企業債残高見込	(資本的収入) 企業債	(資本的支出) 企業債償還金	令和6年度末 企業債残高見込
公共下水道事業	6,019,273	2,292,400	235,073	8,076,600
流域下水道事業	2,378,648	200,400	147,687	2,431,361
合計	8,397,921	2,492,800	382,760	10,507,961

#### 4.財務諸表の概要

令和5年度予定貸借対照表  
(令和6年3月31日)

固定資産 278.1億円	固定負債 80.2億円
	流動負債 20.5億円
	繰延収益 172.4億円
流動資産 25.7億円 (うち現金預金21.9億円)	資本金 32.5億円
	剰余金△1.9億円

資産の部	303.7億円	負債の部	273.1億円
		資本の部	30.7億円
資産合計	303.7億円	負債・資本合計	303.7億円

令和6年度予定キャッシュ・フロー計算書  
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

資金(現金預金)期首残高	21.9億円
業務活動による資金の増減	2.3億円
投資活動による資金の増減	△ 16.2億円
財務活動による資金の増減	21.1億円
資金(現金預金)期末残高	29.0億円
資金増加(減少)額	7.2億円

令和6年度予定貸借対照表  
(令和7年3月31日)

固定資産 286.8億円	固定負債 100.8億円
	流動負債 27.5億円
	繰延収益 163.7億円
流動資産 34.5億円 (うち現金預金29.0億円)	資本金 32.5億円
	剰余金△3.3億円

資産の部	321.3億円	負債の部	292.1億円
		資本の部	29.2億円
資産合計	321.3億円	負債・資本合計	321.3億円

令和5年度予定損益計算書  
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

営業収益	30.0億円
営業費用	41.9億円
営業利益(損失)	△ 11.9億円
営業外収益	12.8億円
営業外費用	2.3億円
予備費	0.1億円
経常利益(損失)	△ 1.5億円
特別利益	1千円
特別損失	1千円
当年度純利益(損失)	△ 1.5億円
前年度繰越利益剰余金 (前年度繰越欠損金)	△ 0.3億円
当年度未処分利益剰余金 (当年度未処理欠損金)	△ 1.9億円

主に令和6年度の  
資本金収入・支出  
等を加減  
(消費税及び地方  
消費税の金額を除く)

(各項目で表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と合わない場合あり)

< 予定貸借対照表の概要 >

(消費税込, 単位:千円)

	令和6年度 (令和7年3月31日)		令和5年度 (令和6年3月31日)		比較	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
<b>資産</b>	<b>32,129,171</b>	<b>100.0%</b>	<b>30,374,958</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,754,213</b>	<b>5.8%</b>
固定資産	28,679,135	89.3%	27,805,315	91.5%	873,820	3.1%
流動資産	3,450,036	10.7%	2,569,643	8.5%	880,393	34.3%
うち現金預金	2,904,884	9.0%	2,185,284	7.2%	719,600	32.9%
<b>負債</b>	<b>29,209,170</b>	<b>90.9%</b>	<b>27,306,714</b>	<b>89.9%</b>	<b>1,902,456</b>	<b>7.0%</b>
固定負債	10,082,241	31.4%	8,015,162	26.4%	2,067,079	25.8%
うち企業債	10,082,241	31.4%	8,015,162	26.4%	2,067,079	25.8%
流動負債	2,752,202	8.6%	2,052,771	6.8%	699,431	34.1%
うち企業債	425,720	1.3%	382,760	1.3%	42,960	11.2%
繰延収益	16,374,727	51.0%	17,238,781	56.8%	△ 864,054	△ 5.0%
<b>資本</b>	<b>2,920,001</b>	<b>9.1%</b>	<b>3,068,244</b>	<b>10.1%</b>	<b>△ 148,243</b>	<b>△ 4.8%</b>
資本金	3,253,315	10.1%	3,253,315	10.7%	0	0.0%
剰余金	△ 333,314	△ 1.0%	△ 185,071	△ 0.6%	△ 148,243	-
資本剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
利益剰余金	△ 333,314	△ 1.0%	△ 185,071	△ 0.6%	△ 148,243	-
うち当年度未処分利益剰余金	△ 333,314	△ 1.0%	△ 185,071	△ 0.6%	△ 148,243	-

※当年度未処分利益剰余金は、マイナス表記の場合、当年度未処理欠損金を表す

※構成比は端数調整していないため、各項目の合計値が100%とならない場合あり

< 予定キャッシュ・フロー計算書の概要 >

(単位:千円)

	令和6年度	令和5年度	増減
業務活動によるCF	225,956	612,492	△ 386,536
投資活動によるCF	△ 1,616,396	△ 206,877	△ 1,409,519
財務活動によるCF	2,110,040	580,905	1,529,135
資金増加額	719,600	986,520	△ 266,920
資金期首残高	2,185,284	1,198,764	986,520
資金期末残高	2,904,884	2,185,284	719,600

業務活動による資金は、下水道使用料収入の減や非現金支出科目である減価償却費の減等に伴い、前年度比3億8653万6千円の減となっています。

投資活動による資金は、自然流下化事業費や老朽化・劣化対策事業費の増等に伴い、建設改良費の支出が増加することにより、前年度比14億951万9千円の減となっています。

財務活動による資金は、起債対象事業費の増により、企業借借入額(収入)が企業債償還額(支出)を上回ったこと等に伴い、前年度比15億2913万5千円の増となっています。

この結果、資金期末残高は29億488万4千円となり、前年度比7億1960万円の増となっています。

< 業務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳 >

投資活動・財務活動以外の活動による収入・支出

主な収入: 下水道使用料, 雨水処理負担金等による収入

主な支出: 管渠補修工事費, 下水道使用料徴収委託料等の管理運営費による支出

※ 予算書は、当年度純損益からの増減による間接法で表示するため、上記科目を直接表示していない

< 投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳 >

補助金, 他会計負担金による収入

固定資産の取得(建設改良費, 固定資産購入費等)による支出

< 財務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳 >

企業債(建設改良費等の財源に充当したもの)による収入

企業債(建設改良費等の財源に充当したもの)の償還による支出

	業務活動 CF	投資活動 CF	財務活動 CF	概要
①	プラス	マイナス	マイナス	本業の業績は概ね良好であり、有利子負債(企業債)残高を減少させつつ建設改良に係る投資も実施しているため、比較的良好的な経営状況にあると想定される
②	プラス	マイナス	プラス	本業の業績は概ね良好であるが、建設改良に係る投資財源を有利子負債(企業債)に依存し、かつその残高が増加しているため、今後の返済負担増加が想定される
③	マイナス	マイナス	プラス	本業の業績が厳しく、建設改良に係る投資財源に加え、日常の運転資金も有利子負債(企業債)に依存している可能性があるなど、資金繰りが非常にタイトになっていると想定される